まちの話題

フィットネスイベントを初開催

総合福祉センター大集会室で11月23日、フィットネスイベントが開かれました。

機能訓練室指導者の平川ひとみさんが企画し、町内外から82人が参加しました。平川さんは「機能訓練室で、曜日ごとに各種レッスンを行っています。町民は参加無料なので、興味のある方はぜひ参加してください」と述べました。

心地よい汗をかき笑顔を浮かべる参加者の皆さん

上田さんから指導を受けながら花を生ける生徒たち

高齢者大学で生け花教室開催

高齢者大学の生け花教室が11月24日に総合福祉センターで開かれ、37人が華道同好会代表の上田敦子さんから手ほどきを受けて切り花などを生けました。

花材は、ディアトリスや菊、ガーベラ、ドラセナゴッドセフィアナの４種類。参加者は、花きに合わせて茎の長さを調整しながら、自慢の生け花を完成させました。

町と北海道石油共同備蓄株式会社が協定締結

町と北海道石油共同備蓄株式会社は11月29日、同社で包括連携協定を締結しました。

協定は①安心・安全な災害に強い地域づくり・防災体制の充実②カーボンニュートラル・森林再生の推進③共に支え合い健やかに暮らせる地域づくりの推進④多様な学習環境の充実・交流の促進による地域活性化―の４項目。有事の際に同社の敷地や施設を一次避難所として活用したり避難所開設時に社員を派遣します。

締結式には、同社の阿曽順之代表取締役社長、中尾伸治常務取締役、廣瀬研志取締役所長と町から宮坂尚市朗町長、吉田良行防災担当理事が出席しました。宮坂町長は「減災のための備えや復旧・復興にご支援いただき、感謝します」と話し、阿曽社長は「地域社会への貢献は、大切な使命です。町との強固な連携体制を構築します」と語りました。

協定締結後に記念撮影する関係者の皆さん

チャリティ即売会と演芸大会を開催

町民でにぎわった即売会場

町コミュニティ運動推進協議会と町婦人団体協議会による歳末助け合い行事が12月１日、４年ぶりに総合福祉センターで開かれバザーやステージ発表が行われました。

青年室では、コミュニティ運動推進委員が、町民の善意で寄せられた衣類や食器などの日用品を陳列。まとめ買いする主婦たちでにぎわいました。

また、大集会室では「第43回歳末助け合いチャリティ演芸大会」が開かれました。厚真郷芸保存会や日本舞踊こども教室など、個人や団体約20組が出演しました。イベントの益金は、厚真町社会福祉協議会に寄付されました。

町と日新火災海上保険株式会社が連携協定締結

記念撮影する関係者の皆さん

町と日新火災海上保険株式会社（本社・東京）は12月5日、総合福祉センターで「復興・地方創生に向けた連携に関する協定」を締結しました。

協定は、町の復興支援や災害に強いレジリエンス（復元力）の向上、地域資源を活用した魅力的で持続可能な地方創生に向けて連携するもので、町から宮坂町長や大坪地方創生復興担当理事らが同席し、同社の郡司源太郎執行役員と北海道事業部札幌サービス支店の内間亨一支店長が出席しました。宮坂町長は「時間がかかる森林再生など、復元力を構築する仕組みを一緒に築きたい」と話し、郡司執行役員は「さらに被災地に関する勉強を積み重ね、社員全員で厚真町を応援します」と語りました。

町商工会会長の寺坂文秀さんが旭日単光章の受章を報告

町商工会会長の寺坂文秀さん（本郷）が旭日単光章を受章し、12月８日に宮坂町長に報告しました。

寺坂さんは、平成19年５月から町商工会会長を務めていて、けん引役として町内の経済振興に尽力されています。また、現在も町土地開発公社理事や町まちづくり委員会委員、町国民保護協議会委員を務めているほか、一大イベントのあつま田舎まつり実行委員会委員長として観光や地域振興にも貢献されています。

報告に訪れた寺坂さんは、町長室で宮坂町長と思い出話に会話を弾ませながら受章を喜び、ゼロカーボンの推進など町の発展に力を注ぐことを誓いました。

受章を報告する寺坂さん

自慢の寄せ植えを手に記念撮影する参加者たち

冬のガーデニング講習会を開催

町コミュニティ運動推進協議会（山下昌秀会長）は12月８日、総合福祉センターで冬のガーデニング講習会を開き、23人が参加しました。

有限会社梅原商店の梅原智哉さんが講師を務め、室温に応じた観葉植物の育て方などをアドバイスしました。参加者は、飾る場所をイメージしながら４種類の苗を選び、色合いや見た目のバランスを取りながら思い思いのひと鉢にアレンジしました。

齋藤政則さん（軽舞）に北海道知事感謝状を伝達

12月27日に統計調査員として長年にわたり貢献されている齋藤政則さんに宮坂町長から北海道知事感謝状が伝達されました。

齋藤さんは、統計調査について36年間携わっているベテラン。町長から感謝の言葉を受けて「引き続き、努力していきたいと思います」と話しました。

北海道知事感謝状を手にする齋藤さん

まちの話題

あつまっ子健康レシピコンテストの受賞者を表彰

あつまっ子食と健康向上委員会主催の「あつまっ子健康レシピコンテスト」のグランプリ受賞者の表彰式が１月、総合ケアセンターゆくり介護学習室で行われました。

おとな部門の厚真元気クラブ（村上朋子代表）とこども部門の藤村花乃さん（上厚真）に住民課の宮本参事から賞状と記念品が贈られました。

同コンテストは、塩分の取りすぎや食物繊維摂取不足等の町が抱える課題への取り組みの一貫として開催。おとな部門６作品、こども部門18作品の中からそれぞれ２作品が最終選考され、町文化祭で来場者による試食と投票でグランプリが決まりました。村上代表は「今後も、地元の野菜を使って元気になるレシピを考えたい」、藤村さんは「料理は好きなので、うれしいです」と受賞を喜びました。

おとなの部でグランプリを受賞した村上代表（左）とこどもの部でグランプリを受賞した藤村さん（右）

新年交礼会を開催

勢いよく鏡抜きする６団体代表と宮坂町長

町議会やJAとまこまい広域、町商工会、町土地改良区、農業委員会、苫小牧広域森林組合の６団体が主催した新年交礼会が１月９日、約140人が出席して総合福祉センター大集会室で行われました。

主催者を代表して世話団体の町商工会・寺坂文秀会長が「次世代半導体のラピダスの着工など、道内経済にも明るい話題がある。着実に課題を解決し、地域一丸となって地域振興に取り組みたい」とあいさつ。６団体の代表と宮坂町長が地域の発展を願って鏡抜きし、今年１年の繁栄を願いました。

会の冒頭、出席者は１月１日に発生した能登半島地震の犠牲者や被災者に哀悼の意などをささげました。

祈願祭で交通安全願う

厚真町交通安全協会（大浦眞則会長）は１月11日、厚真神社で交通安全祈願祭を行い、16人が出席して今年1年の交通安全を願いました。

町内では、昨年８月17日に交通事故死ゼロ2000日を達成して北海道知事から感謝状を受け、その後も記録を更新しています。大浦会長は「交通死亡事故ゼロを１日でも長く継続するため、スリップ事故などに気を付けて交通安全への協力をお願いします」と話しました。

神事を終えて交通安全を呼びかける大浦会長